

## Teaching Grammar Communicatively with Focus-on-Form

### 1. Context

- (1) Level: Junior high school third year students
- (2) Class Size: Five classes (36 students each) were divided into Group A and Group B for small group instruction. I taught Group B of each class for the first half academic year and taught Group A in the second half. Group A in the first half year and Group B in the second half year were taught by my colleagues. All students used the same handouts and did the same communicative activities and assessment tasks.
- (3) Textbook: New Horizon English Course III (Tokyo Shoseki)

### 2. Problem & Goals

I started my action research three years ago to improve my way of teaching further based on the principles of Communicative Language Teaching (CLT). In my first year, I started to use communicative activities more frequently as a way to introduce new grammar. In developing a communicative activity, I made sure to start with an input activity to help students get the feeling of how target grammar could be used in context and internalize the target grammar without conscious effort of learning. I felt strongly that it is important to place good focus on meaning and use a variety of activities to keep students interested. In my second year, I devoted myself to Task-based Language Teaching (TBLT) because I wanted to make my activities more meaningful, open-ended, goal-oriented, and real life tasks.

Although the above-mentioned change as part of my action research yielded positive results in terms of students' attitude and motivation in learning English and performance in speaking tests and term tests, there were some issues that I still wanted to work on. One of them is to learn how to create a good flow of activities within a communicative task in the way that it is more conducive to second language acquisition. The other is to introduce new grammar more effectively. Therefore, as part of my final project for Qualitative Research Methods course, I did literature review extensively on such topics as explicit and implicit grammar instruction, structured input and output, and focus on form instruction (FFI). As I read Ellis (2006), I learned that tasks can be categorized into two distinctive types, that is, planned focus on form task and incidental focus on form task. To meet my students' desire to improve writing skills furthermore, I decided to give extensive writing tasks this year while continuing to give incidental focus on form tasks in speaking. In Dr. Sato's Second Language Teaching course, I learned that FFI consists of input-based instruction and output-based instruction, which are what Lee and VanPatten (2003) call structured-input instruction and structured-output instruction (Sato, 2012). Thus, my goal of action research this year was to apply these principles more consciously and accurately in examining my lessons and developing more effective communicative tasks.

### 3. What I did

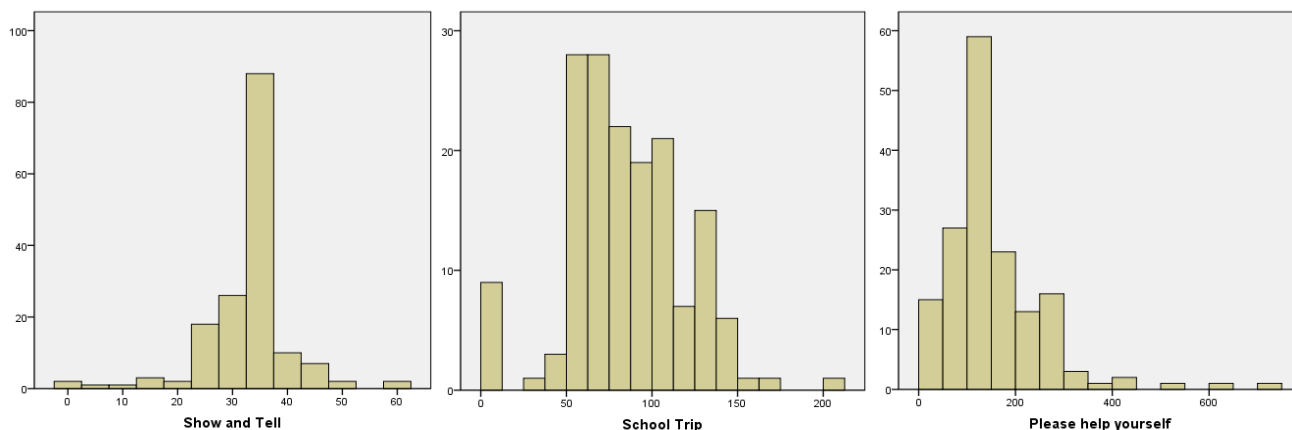
- (1) Giving incidental focus on form tasks in writing
- (2) Giving a structured input activity before a structured output activity in a planned focus on form task
- (3) Continue teaching conversation strategies and giving incidental focus-on-form tasks in speaking

### 4. Results

- (1) Writing Tasks

(a) The Number of Words Students Wrote in Writing Tasks

I gave the three incidental focus on form tasks in writing throughout the academic year. In the first writing task, students were asked to introduce one of sight-seeing spots of their choice such as Mt. Fuji, Nagoya Castle, and Tokyo Sky Tree. Students wrote 32.78 words on average. In the second task, students wrote about their school trip in Osaka. Students wrote 84.2 words on average, which is more than twice as much as that of the first task. In the third writing task, students were asked to revise their first drafts based on feedback given by a native English-speaking Assistant Language Teacher (ALT). They wrote 150.58 words on average, and which is five times as much as that of the first writing task. As the average word count shows, students actively participated in the extensive writing tasks in English.



Task #		Average	Standard Deviation	Greatest Value
1 (in April)	Show & Tell	32.78	7.752	62
2 (in June)	School Trip	84.2	35.474	205
3 (1 <sup>st</sup> draft in Nov. →Final draft in Dec.)	Let's Write a Skit "Please Help Yourself"	150.58	105.564	744

(b) Students' Comments on Writing in English

Students' devotion to the incidental focus on form tasks in writing can be exemplified through their comments as in the form of self-evaluation.

(i) Positive comments on writing tasks

<A sense of improvement>

- ◎ 1, 2年で習った文法も使って長文を書くことができるようになったので、2年の時と比べて英語の力が身についた (10)
  - ◎ 家族や友達に教えてもらって、だんだん書けるようになった (4)
  - ◎ 英語でも自分の思ったことや説明など詳しく書くことができるようになった (5)
  - ◎ 自分が思っていたよりも日本語で思いついたことをスラスラと英語で書くことができた (1)
  - ◎ たくさんの+αが書け、書ける英文の量や質がだいぶ上がった (1)
  - ◎ 文法もあまり間違えなくなったし、スラスラと文法がでてくるようになった (1)
  - ◎ 3年間で覚えた単語とたくさんの文法を使ってたくさん文が書けるようになって、長文も書けるようになった (7)
  - ◎ 長文を書くのは英語で話すより難しかった。英語で話す時は多少間違っても伝わるし、わからない時は単語やジェスチャーで伝えることができるけど、英作文では文の形が間違っていないといけないし、書きたくてもわからない単語が出てきたりするので苦手だった。だけど、何回か英作文をしているうちに、少しずつ書ける単語も増え、ある程度は自分で作れるようになりました (1)
  - ◎ 2学期の最後に200語の長文を目指したけど、がんばったら大幅にその目標を越えることができた。1, 2年では長文の自由作文はつくらなかったけど、すごく楽しかった。物語性もあってとても面白いものが書けたし、卒業文集とか作ったら面白そうと思った (1)
  - ◎ 自分が使いたい単語などをうまく組み合わせてちゃんとした文をつくることができるようになった (2)
- 下書きは100語くらいしか書けなかったけど、本番で200語以上の英作文が書けた。英作文のおかげで、書きたい文がスラスラと書けるようになった (1)

<Increased confidence>

- ◎ 3年間英語を習った英語だけで、自分がこれだけの単語や英文を書けるんだとうれしかった (7)
- ◎ 長文の英作文はすごく好きだった。英語が苦手であまり文法を使って書くのは得意ではなかったけど、そんな少ない知識でも自分の書きたい文章を作れて、さらに提出した後に先生の赤ペンが少しだけの状態で帰ってきた時はすごくうれしかった (1)
- ◎ 3年で自由英作文を書いてみて、自分が言いたいことや表したいことをしっかり英語で書けたからとてもすごいと思った。100語を越えるくらいまで書けるようになったのは日ごろから文法、会話、英作文としっかりやってきたからだと思った (1)
- ◎ 最初は話の展開などに苦労したけど、3年間やってきたおかげか話の展開が得意になった気がする (1)
- ◎ 修学旅行の英作文では70語くらいしか書けなかったけど、Please help yourselfの英作文では100語以上書いて、もっとたくさん書けるようにしたいと思った (1)

<A sense of achievement>

- ◎ 自分で考えて書くのは難しくちゃんと書けるか心配してたけど、Aがもらえてうれしかった (2)
- ◎ 英作文は苦手が好きじゃなかったけど、書きたいことを考え、英文にし、書き終わった後すごく達成感があった (5)
- ◎ 評価がつくのでやりがいがあった (1)
- ◎ 語数を書くところがあることでよりがんばれたし、自分が書いた単語の数を数えるのが楽しかった (4)
- ◎ 書くのは話すのよりも習ったことをフルに使えるからやりがいがあった (1)
- ◎ 自由英作文ということもあって、自分の個性を出せたと思う。自分の好きなことだと内容も広がっていくので語数も多く書けたし、内容も深い説明をつけて書くことができた (1)

<Writing tasks helps improve English>

- ◎ 友達に聞いたり辞書などで調べたりして、わからない単語や文法を復習できたし、覚えることができた (3 1)
- ◎ たくさんの文法や単語を長文の英作文の中で使うからいも勉強になった (5)
- ◎ こんな文を書きたいなと思ってたものがスラスラ書けたり、この文にはこういう文法が使えるんだと言う発見があったりして、とても面白かった (1)
- ◎ 正直手間がかかるとずっと思っていたけど、その分今まで習った文で書くので復習ができて、さらに書くことで新しい単語も覚えることができたので、こういうのが大切なんだなあと考えた (1)
- ◎ 文のつながりの言葉や英語でのいろいろな表現などが使えるようになった (3)
- ◎ 英作文は今までに習ったことを生かすことができて、実践的だからいいと思った (3)
- ◎ 辞書を使って自分で調べることができるようになった (3)
- ◎ 自分のちょっとしたミスとか気づけるようになったり、長文で間違えたところを覚えたりすることができてよかった (2)
- ◎ 今まで習った文法や単語を実際に応用して使えたし、書いた英文を添削してもらえたので、文法の間違いが前より減った (1)
- ◎ テストでもミスしそうな複数のsとか直されてプリントが返ってきたから、テスト前にうっかりミスを意識することができた (1)
- ◎ 間違った文法や単語が前から多かったの、先生に聞いたり、辞書で調べるようにしたりしたら、前よりほんの少し間違いが減った (1)
- ◎ 先生に質問して、習ってない単語や文法や辞書に載っていない細かいこと、具体的にどういった説明や表現をする時に使ったらいいかなどを教えてもらうことができてよかった (2)
- ◎ 長文の英作文をやったことで、細かい単語の間違いや文法の形が違うなどのうっかりミスが見つけられてよかったし、間違えたところは覚えることができた (2)
- ◎ 長文の英作文をしたおかげで、少しずつ苦手だった文法もできるようになって、うれしかった (1)
- ◎ 長文は苦手、変な英文になったり、単語を間違えたりした。でも見直してじっくりと考えて直したり、友達に聞いたりしてしっかりと書くことができるようになった (1)
- ◎ 長文を書くことで、長文読解の力もついたと思う (3)
- ◎ テストで英文を書く問題がだんだんバツと解けるようになった (1)
- ◎ 色々考えることで想像力がついたし、自分で考えて英語の文章を書く力が身についた (6)
- ◎ 英語で書くのはじっくりと考えなければならなくて他の活動に比べて大変だったけど、その分しっかりとしたもの身についた (1)
- ◎ 辞書などを利用して、意味や発音を理解した上でプリントに英作文を書いていたので、いろいろな単語や文の構成がわかるようになった (1)

- ◎ 会話する時に英作文でやったことを思い出すことができ、すごく役立った (2)
- ◎ 自分が今どのくらいの書く力があるかがわかってよかった (1)
- ◎ 評価するポイントや項目がたくさんあって、Aを取るのにどうしたらいいかもすごく困ったけど、悩んだことがとても勉強になって、たくことが少し楽しくなるくらい役立った (1)
- ◎ 自分の意見を英語で表すことは将来いつか必要だし、英作文は大切だと思う (2)
- ◎ 英語を話すのと違って、言いたいことを正確に書くことができるのがよかった (1)

<Positive comments about writing tasks>

- ◎ 自分が伝えたいことを英文で書くことは難しかったけど、楽しかった (10)
- ◎ 長文を書くことは大変だったけど、文を作れば作るほど楽しくなってきて、もうちょっと書こうと思うようになった (5)
- ◎ テストでは並べかえや読みとりばかりなので、自分で考えた文を英作文にするのは思った以上に難しく、楽しかった (1)
- ◎ 「話題を考えて、単語を考えて、文を作る」という繰り返しを楽しく感じた (1)
- ◎ 長文の英作文はどう話を始めたらいいかどう話を展開していくかを考えるのが難しかったけど、思いつくとスラスラ書くことができたから楽しかった (1)
- ◎ 最初は自分で英文を作るのは難しいと思っていたけど楽しかった (1) 暇な時間を見つけて英文をたくさん作ったし、家でもずっと文を考えているくらい熱心に取り組んだ (1)
- ◎ 学校ではあまり進まなかったんで、家で辞書を引きながら文を考えたら、時間がかかったが、それだけの時間があつという間に過ぎてしまうほどとても楽しかった (1)
- ◎ 初めはどんな内容にしようか迷ってしまい、書きだしからなかなか進まなかったけど、作っていくうちにどんどんアイデアが浮かんできた。自分の表現したいことが英語でうまく表現できなかつたり、まだ習っていないから駄目だったりと苦労したけど、友達の英文を読んで「ああ、こういう表現の仕方もあったな」と思ったりして、長文の英作文はやるのに時間はかかったけど、やっていてとても楽しくて、一番思い出に残っている (1)
- ◎ 長文と聞くと嫌なイメージがあつたけど、自分の言いたいことを一つ一つ英語にするだけなので思っていたより難しくなくて楽しくできた (1)
- ◎ 前は英語は書くのも見るのも嫌いだったけど、3年の後半はすごく英語に興味をもつようになった (1)
- ◎ 自分で文を考えたり、辞書を使って単語を調べて書いたりするのが楽しかった (6)
- ◎ 最初の頃は書くのは難しかったけど、文字数を稼ぐために家でたくさん辞書で調べながら書くのがとても楽しかった (1)
- ◎ 日本語じゃない言語で文章が書けると、外国人になった気がしたし、うれしかった (2)
- ◎ 日本語と英語では、英作文の雰囲気も違っておもしろかった (1)
- ◎ 他の人の英作文を読むのが楽しかった (3)
- ◎ 英語で話すよりも、英作文を書く方が楽しかった、これからも英作文をたくさんやっていきたい (4)
- ◎ いつか日本語で文を書くのと同じくらいスラスラ英文が出て、自分の思いをもっと自由に表現できるようになりたい (1)
- ◎ 長文を書くのは苦手だけど、自由英作文の会話を書くことは一番楽しかった (1)
- ◎ 長文を書く機会はなかなかないから書いて良かった (1)

(ii) Comments of those who had difficulties with writing tasks

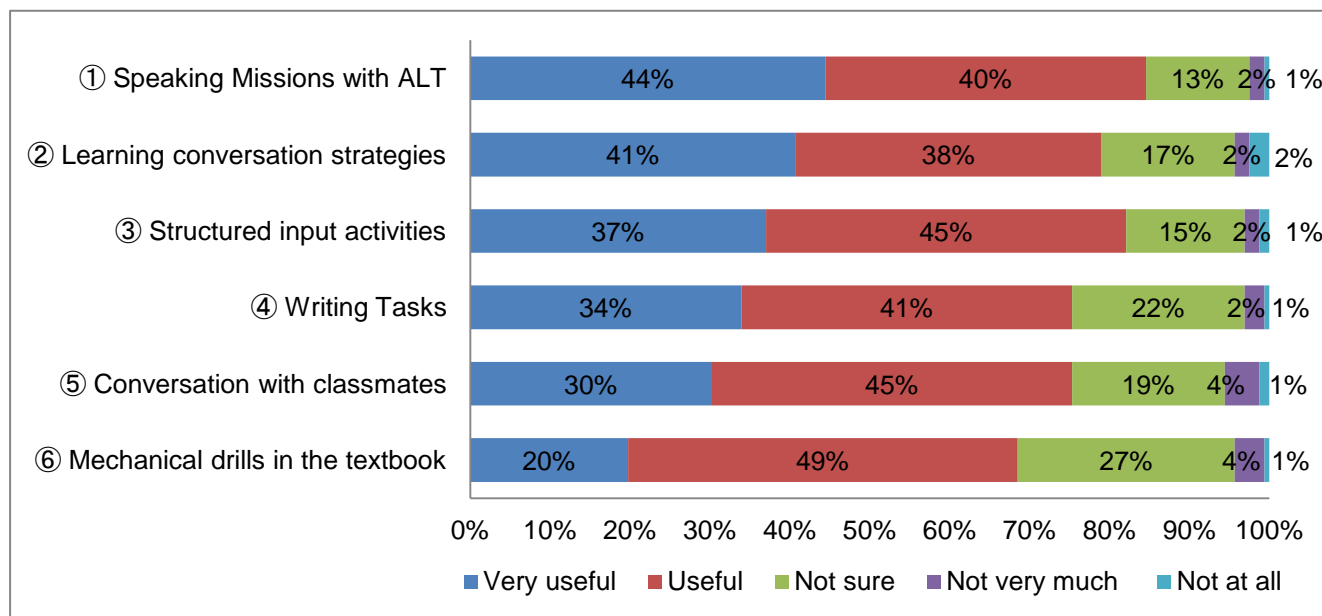
- 文法も単語もわかってなかったけど、机の上にプリントと今までのノート、教科書、ワーク、辞書を広げて何度もそれらを使いながらがんばった。少しでも知識を増やしたかったので覚えようと努力しながら、なるべく自分の力で作った (1)
- 文を書くことが苦手だから、もっと自分で単語や文法の勉強をしなきゃと思った (1)
- 単語や文法を少し間違った使い方をしている時があるので、まだまだ勉強が必要だと思った (4)
- 楽しくはなかったけど、自分のためにはなった。今までの文法をふり返って文を作ることができて復習になったし、新しい文法も使えたから一石二鳥だと思う。ちょっと面倒だから嫌いだけど、自分のためだと思ってがんばってみようと思う (1)
- 書くのに1週間かかったのでもう少し早くスラスラ書けるようにしたい (1)
- 一人では書けなくて、友達や先生に助けてもらったから、自分一人で書けるようになりたい (2)
- ほとんど調べながら書いていたので、覚えて書けるようにしたい (1)
- わからない単語が多く、辞書で調べるのが大変だった (1)

- 難しくできなかった、あまりがんばれなかった (5)
- 長文の英作文は苦手、授業でやってもやっぱり得意にはなれなかった (1)
- 正直、あまり楽しくなかったけど、いろんな単語を組み合わせて使うことができたのはよかった (1)
- 長文を書くのは苦手、文の組立て方などがよくわからなかった (1)
- 正しい文法をいつも使いこなせなくて、あまりうまく書けなかったし、例文と似たような文ばかりになってしまった (2)
- 英作文は今の力を試すためのものなんだろうけど、私は教科書の内容を少しだけ書き変えてほとんど写したようなものだったので、もうちょっと考えればよかった (1)
- あまり使わない単語や似ている単語などが書けないことがあったり、がんばって調べて書いてみても先生にすごく直されて、比べてみるとすごく違っていたりして、まだ英作文の力が足りないのかなと思った (1)
- 言いたいことを正しく文章にして書くのは、まだ習ってない単語や文法が必要なむずかしい文章だったりして、大変だった (6)
- IやItが連続して主語になってしまって、不自然だと思ったけど克服するのは難しかった (1)
- 英語で文をどうやってつないだらいいか、日本語特有の表現とかはどうやって英語にしたらいいかがすごく難しかった (1)
- 自由英作文はあまりがんばってなくて、提出が遅れたり出せないまま終わったこともあった (1)
- 長文は面倒だったし、何回も提出を忘れてしまった (2)
- 長文を書くのが苦手だし、提出日も守れないことが多かった (1)
- 正直、長文を書く必要があるのかと思う、先生や友達にすごくたよってしまったりして、自分のための勉強のはずが自分のためになっていないことが多かった (1)
- もう少し内容を推敲したり、文自体を長くしたりと自分的にはもっとできたと思う (1)
- 授業以外の時間に書くのが無理だったので、あまり内容の濃い英作文が書けなかった (1)

## (2) Student Survey (n=162; Group A and Group B)

### (a) How students perceive different kinds of activities?

The following graph shows students' evaluation of different types of classroom activities. Activities that I introduced, improved, and emphasized this year (②③④) were perceived favorably by about 80% of the students.

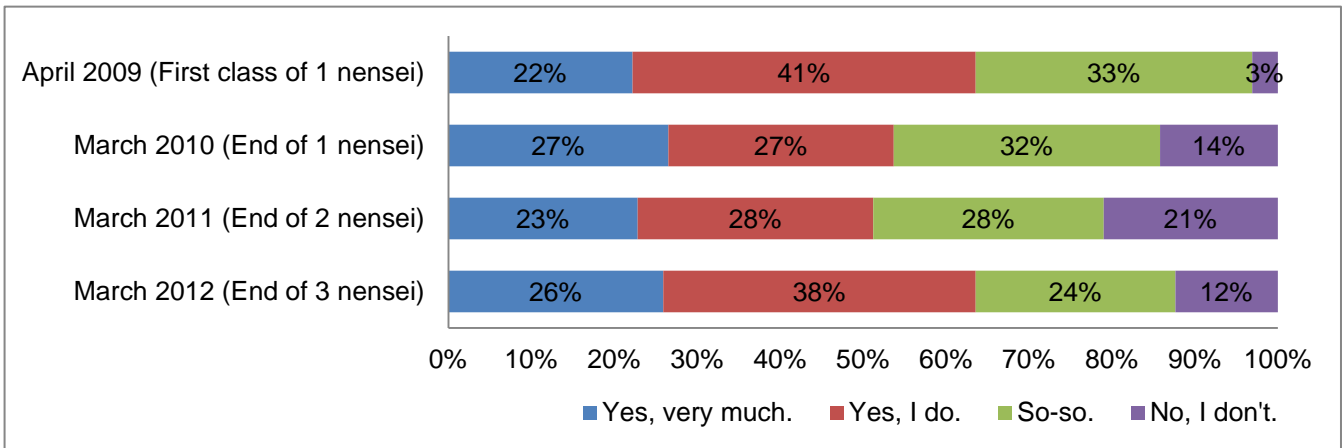


### (b) Do you like English?

The following shows students' answer to the question "Do you like English?" In the survey given at the end of the third grade, 64% of the students answered positively (Yes, very much. + Yes, I do.), and which is 13% increase compared to the survey result obtained at the end of the second grade. Moreover, those who answered "No, I don't." decreased significantly over the year (21%→12%).

It is also remarkable that 88% of students didn't have negative feeling toward English after three years of

learning English at a junior high school because it is often said that many students start to dislike English in the middle of the first grade.



(c) Students' comment about their change in their feeling toward English

(i) Positive comments

- ◎ 前よりわかる（できる）ようになった、できるようになっていくのが楽しい（24）
- ◎ 英語は楽しい、だんだん楽しくなってきた、英語の楽しさを感じることができた（9）
- ◎ 1年の時英語はすごく難しくて楽しくないと思っていたけど、2・3年で繰り返し確認や復習をしてくれたので、英語を理解して、楽しめるようになった（3）
- ◎ 1年の最初は学校外で英会話とかやってなくて不安や苦手意識があったけど、少しできるようになって楽しくなった（1）
- ◎ 1年の4月は英語は難しいというイメージしかなかったが、英語に触れていくうちにだんだん苦手意識がなくなっていった（1）
- ◎ 単語が覚えられなくて嫌になったけど、スピーキングなど英語の別の楽しさに気付いた（1）
- ◎ 家で洋楽を聞くようになったり、授業で英語の歌を一緒に歌ったりして、英語は楽しいと思った（8）
- ◎ 英語の授業がわかりやすくて楽しかった（42）
- ◎ リスニングやライティングができるようになった（2）
- ◎ 普通にノートにまとめたりするのが楽しい（1）
- ◎ スピーキングのミッションやクイズ、プリントを使ったコミュニケーション活動が楽しかった（14）
- ◎ 先生がやさしくて、明るくて、楽しかった、熱心でいていいに教えてくれた（8）
- ◎ 学習の振り返り用紙に、先生がアドバイスを書いてくれて、それを見てそういう風に頑張ろうと思ったし、うれしかった（1）
- ◎ 小学校の英語に比べて、中学校の英語の授業は楽しかった（1）
- ◎ 他の教科よりも英語は得意だし、もっとできるようになりたいと思った（2）
- ◎ 英語はもともと好き（4）
- ◎ 英語は難しくても、授業で友達と英語で話すのはとても楽しかった（12）
- ◎ ALTの先生と授業や休み時間に話せて、うれしかった（4）
- ◎ 話すのも書くのも含めて、いつも楽しくて好きだった（2）
- ◎ 授業を受けて使える文法が増えて、英語でいろいろなことを書いたり、友達と話したりできるようになってうれしかった（17）
- ◎ 長文が少しずつ速く読めるようになった（1）
- ◎ 2年の初めごろ、テストの点が下がって「とても好き」から「好き」になったけど、今は点数じゃなくて英語が楽しいと思えるから「とても好き」になった（1）
- ◎ 積極的に英語を勉強して努力するようになったら、わかるようになって好きになった（8）
- ◎ 英検に受かって自信がついた（2）
- ◎ 最初は全然単語とかが読めなかったし楽しくなかったけど、だんだん読めるようになって、文法も習うことができて楽しくなった（1）
- ◎ 先生が毎日英語で話しかけてくれた（1）
- ◎ 初めは英語は本当に必要ないと思ってて、やる気も全くなかったけど、だんだん英語の大切さを学んだ（1）

- ◎ 明るく話せば英語も楽しいんだということがわかったから (1)
- ◎ 自己紹介や自由作文など自分で考えて英語を使うのが楽しかったし、すごく英語の力が伸びたと思う (1)
- ◎ 書く活動が増えて、たくさん書けるようになったし、楽しかった (3)
- ◎ 3年になって英語で物語を読む機会が増えて楽しかった (1)
- ◎ 勉強の仕方をまわりの人に教えてもらってから、少しずつ英語がわかるようになってきた (1)
- ◎ 英語は嫌いだけど、授業は楽しかった (2)
- ◎ 3年生になっていくにつれて英語がとても楽しくなった (2)
- ◎ なんとなく英語がカッコよく思った (1)
- ◎ 友達と協力して訳を書くのが楽しかったし、友達と一緒に学力が上がっている感じがしてよかった (1)
- ◎ 2年までは人と話すのが嫌いで、英語で話すのも嫌だったけれど、3年生になってから話すのがすごく好きになった (1)
- ◎ 2年生くらいからアメリカの小説を読み始めて、アメリカの文化や英語に興味をもつようになった (1)

## (ii) Negative comments

- いろいろな文法や単語が出てきてだんだん難しくなった、わからなくなった、できなくなった (30)
- 話す時間が長くなって、話せなくなってきた (1)
- あまり頑張れなくて実力があまりかわらなかった (1)
- 長文が読めなくて苦手意識が出てきた (1)
- 静かなクラスで、会話練習が盛上らなくて、あまり好きじゃなくなったことがあった (1)
- 英語は3年たってもまだまだ勉強しなければいけないから (1)
- 3年になった時に複雑になって、面倒になった (1)
- 毎日同じようなことを繰り返しているとつまらないし、飽きてしまう (1)
- 苦手な人のためには必要かもしれないけど、文法の確認や会話の練習が多い (2)
- 日本語と違って聞きとれないし、読めないからわからなくて、流れについていけない (1)
- 英語はむずかしくてわからないし、わからないのは嫌い。英語を学ぶ理由も納得いかない (1)
- 読めなかったり、書けなかったりすると好きじゃなくなる (1)
- テストの点数が下がった、なかなか上がらない、テストで言い点をとれない (6)
- 授業の説明はわかりやすかったけど、家に帰ってノートで復習しようとした時にわからないことが出てきて、先生に聞こうと思いつながら結局聞かずにためこんでしまった (1)
- 本文を学ぶ時間が長いとつまらない (1)
- 最初は英語が理解できることがとてもうれしかったが、徐々にそういうのがなくなっていった (1)
- テストの点が取れたり、書く力が上がったりするのももちろん必要だが、話せるようになることの方がもっと必要だと思うから、もっとそれができるようになりたかった (1)
- 勉強自体が嫌いだから、英語はふつう (1)
- 1年生のころはすごく授業が楽しく感じたけど、2・3年はあまり感じられなかった (1)
- 小学校英語に比べて、英語が授業っぽくなった (1)

## 5. What I learned

### (1) Focus on form is important.

The survey result and student comments confirmed that students enjoyed focus on form activities. They especially enjoyed incidental focus on form tasks such as extensive writing tasks and speaking missions with ALT.

### (2) Both planned focus on form tasks and incidental focus on form tasks are necessary.

Students need opportunities to build up new target grammar with intensive planned focus on form tasks. They also need opportunities to use previously learned grammar all together in incidental focus on form tasks so

that they can recycle all the linguistic materials that they have accumulated so far, and thereby restructuring their interlanguage.

(3) Structured input is effective.

Good structured input activities make communicative activities fun and allow students to learn new grammar more easily without much conscious effort to memorize target grammar.

(4) Students develop positive feelings toward English if they can acquire English communication skills.

Performance on grammar-oriented term tests has a significant impact on students' self-esteem and attitudes toward English. Those who score well on grammar tests are likely to say that they like English. According to the survey result and student comments, however, those who score poorly on tests may still exhibit positive attitudes toward English if they feel satisfied and confident with their attained level of English communication skills.

## 6. Future issues

(1) Finding ways for more successful teacher collaboration

(2) Collecting more valid and objective performance data which can be compared to the other studies

(3) Analyzing and collecting data more effectively and successfully with qualitative research methods

(4) Giving more support to slow learners for such challenging tasks as extensive writing and speaking

(5) Creating more doable, efficient system for giving extensive writing tasks

## References

Ellis, R. (2006). Current issues in the teaching of grammar: An SLA perspective. *TESOL Quarterly*, 40(1), 83-107.

Lee, J. F., & VanPatten, B. (2003). *Making communicative language teaching happen* (2nd ed.). Boston: McGraw-Hill.

Sato, K. (2012). Tasuku wo tsukatta atarashii bunpo shido: focus on form (FFI) [New way of teaching grammar with tasks: focus on form (FFI)]. In K. Sato (Eds.), *Focus-on-form de dekiru! Atarashii Eibunpo Shido Idea Work* (pp.8-11). Tokyo: Meiji Toshō.

## My Lesson Plan

1. Level: Junior high school third year students

2. Class size: 5 classes with 18 students

3. Textbook: "Unit 6: 20th Century Greats" in New Horizon English Course III (Tokyo Shoseki)

4. Goal: Students can provide extra information about things and people.

5. Objectives:

(1) Students can understand the usage and meaning of the following relative clauses:

(a) Students can use a relativized object which may or may not accompany a relative pronoun

e.g. This is a book **(that)** she wrote last year. (relativized object)

(b) Students can use relative pronouns as the subject of a defining relative clause.

e.g. Carson is the scientist **who** wrote Silent Spring. (relativized animated subjects)

This is a movie **that (which)** makes us happy. (relativized inanimated subjects)

(2) Students can use relative clauses to provide extra information about things/persons.

(3) Students can use communication strategies to sustain conversation.

6. Procedure

(1) Day one: Introduction to Starting Out (Today)

- Planned Focus-on-Form Task 1: Let's explain things in English.



(2) Day two: Starting Out & Dialog

(a) Starting Out (continued)

- Review of the previous lesson
- Understanding and reading aloud the textbook dialogue

(b) Introduction to Dialog

- Planned Focus-on-Form Task 2: Learning and practicing how to use the relative pronoun “who ” to describe people.

(1) Quiz: Who is Bell? Bell is a person who invented a . . . .

(2) Interviewing something special about classmates.

(3) Task 2: Let’s write about classmates.

(3) Day three: Dialog (continued)

- Review of the previous lesson
- Understanding and reading aloud the textbook dialogue

(4) Day four: Introduction to Reading for Communication 1

- Review of the previous lesson
- Learning the usage of the relative pronoun “which/that ” to describe things.
- Learning new vocabulary
- Understanding the text, answering comprehension questions, and reading aloud the text

(5) Day five: Introduction to Reading for Communication 2

- Review of the previous lesson
- Learning the usage of a relativized object that accompanies a relative pronoun.
- Learning new vocabulary.
- Understanding the text, answering comprehension questions, and reading aloud the text

(6) Day six:

(a) Reading for Communication 2 (continued), The introduction to Reading for Communication 3

- Review of the previous lesson
- Reading for Communication 3

7. Today’s lesson plan: Task 1 “Let’s explain things in English.”

(1) Explanation of today’s class

(2) Pre-task (Input)

(a) Sing the song “Heal the world”

(b) Review how to modify a noun with relativization.

e.g. The musician I like the best is Mana Ashida. (Subject-object Relatives)

This is the book I bought yesterday. (Object-object Relatives)

(3) Task (Output)

(a) Practice how to get help when we can’t remember how to say things in English.

(b) Task: Get help with things we can’t remember how to say

(4) Post-task (Output)

(a) Writing several sentences that explain things in English

(5) Summarizing today’s class

8. Assessment (Day nine & ten)

- Task 3 (Assessment)
- Year-End Exam

### 3 年英語 学年末アンケート

#### 1. 現在の英語力について

- (1) 友達が話す英語や教科書のCDを聞いた時、どれくらいわかりますか。  
 a. ほぼ全部わかる    b. 70%くらいわかる    c. 半分くらいわかる    d. 30%くらいわかる    e. ほとんどわからない
- (2) 友達が書いた英作文や教科書の本文を読んだ時、どれくらいわかりますか。  
 a. ほぼ全部わかる    b. 70%くらいわかる    c. 半分くらいわかる    d. 30%くらいわかる    e. ほとんど分からない
- (3) プリントなどを見ずに、どれくらい英語で会話することができますか。 (     ) 分
- (4) 英作文は、どれくらい書くことができますか。語数で言うと (     ) 語くらい
- (5) 1~3年の文法(教科書の基本文)は、どれくらいわかっていますか。  
 a. ほぼ全部わかっている    b. 70%くらいわかっている    c. 半分くらいわかっている    d. 30%くらいわかっている    e. ほとんどわかっている
- (6) 1~3年の教科書で習った単語は、どれくらい意味とつづりがわかっていますか。  
 a. ほぼ全部    b. 70%くらい    c. 半分くらい    d. 30%くらい    e. ほとんどわからない
- (7) 英検でもっている級に○をつけてください。    2級 ・ 準2級 ・ 3級 ・ 4級
- (8) 次の7つの力に、自信がありますか。適当な答えをa~dの中から選んで、記号で答えて下さい。  
 a. とても自信がある、得意だ    b. まあまあ自信がある、まあまあ得意だ    c. あまり自信がない、少し苦手だ    d. 全然自信がない、苦手だ
- スピーキング(話す力) \_\_\_\_\_ リスニング(聞く力) \_\_\_\_\_ リーディング(読力) \_\_\_\_\_ ライティング(書く力) \_\_\_\_\_

#### 2. 授業の中でやった活動について

(1) 次の活動は、英語の力を伸ばすのに、どれくらい役立ちましたか。適当な記号に○をつけてください。

	◎ とても役立った	○ 役立った	? どちらともいえない	△ あまり役立たなかった	× 全然役立たなかった
① すでに習った大切な文法を、授業で繰り返し復習すること	◎	○	?	△	×
② クイズやプリントなどで、新しい文法が使われている英文にたくさんふれること	◎	○	?	△	×
③ クラスメイトと英語で話すこと	◎	○	?	△	×
④ あいづちやシャドーイングなどの英語の会話の技術を学ぶこと	◎	○	?	△	×
⑤ ALTの先生とやったスピーキングのミッション	◎	○	?	△	×
⑥ 英語で自由作文(「修学旅行記」「Please help yourself」など)	◎	○	?	△	×
⑦ ピクチャーカードで、教科書の基本文の入れかえ練習をすること	◎	○	?	△	×
⑧ 単語・文法の小テスト(英語コンクールを含む)	◎	○	?	△	×
⑨ 教科書の本文の勉強	◎	○	?	△	×

#### 3. 英語を勉強してみた感想

(1) 3年間英語を勉強してみて、英語に対する気持ちはどう変わりましたか。

1年生の4月	a. とても好き	b. 好き	c. ふつう	d. あまり好きじゃない
2年生の4月	a. とても好き	b. 好き	c. ふつう	d. あまり好きじゃない
今(3年生の終わり)	a. とても好き	b. 好き	c. ふつう	d. あまり好きじゃない

気持ちが変化した(または変化しなかった)理由を教えてください。

(2) 授業の改善点や感想など、何かあれば書いてください。

### 3年英語 学年末自己評価シート

#### 1. 今年1年間をふり返り、自己評価をしてください。

次の活動について感想を書いてください。どれくらい熱心に取り組みましたか、どれくらい役立ちましたか。どんなことができるようになりましたか。

(ア) プリントを使ってやったコミュニケーション活動

(イ) あいずちやシャドーイングを使いながら、その場で考えながらクラスメートと英語で会話する活動

(ウ) ALTの先生とやったスピーキングのミッション (Show&Tell、1分間自由会話、うちわなどの日本文化紹介など)

(エ) 長文の自由英作文 (Show & Tell、修学旅行、Please help yourself など)

(オ) 朝ドリル・小テスト・コンクール

#### 2. 3年間をふり返って、書いてください。

(ア) 小学生の時に中学校英語に対してどんなイメージをもっていましたか。実際に3年間中学校で英語を勉強してみても、どうでしたか。(例：想像したより楽しかった、小学校の英語より楽しかった、など)

Class \_\_\_\_\_ No. \_\_\_\_\_ Name \_\_\_\_\_

# Heal the world ( ) ( ) in!

僕たちが住んでいる世界を癒そう！

Step 1. 【A】 下の1~8の英語を日本語にしよう。【B】 また、それぞれの英語は「私たちが書く時に使うもの」のようになっているので、例えばどのようなものがあるか、思いっくだけななるべくたくさん書きましょう。

【A】 左の英語を日本語にしよう

【B】 例えば？具体例を書こう

1. a thing we use when it is rainy
2. a thing we get from friends on January 1
3. a country a Japanese soccer player lives in
4. food we eat on Setsubun
5. a thing we use when we wash our hands
6. a thing we use when we bring things
7. an animal we can see in Australia
8. an old building we can see in Kyoto


ポイントをまとめよう ☞ 「～が…する (した) 名詞」と言いたい時、  
英語では 名詞 + ( ) ( ) の順番で並べる。

Step 2. 英語でどう言えばいいか忘れてしまって困っている人を助けよう。

Curry: I can't remember how to say this. That is (Step 1の1~8の英語) ?

Rice: (Step 1の1~8の英語) ?

Curry: {Yeah. / Uh-huh.}

} シャドーイングで確認する

Rice: Is that (Step 1でBのところに書いた1~8の具体例) .

自分の言いたいこと  
と同じだったら

(Curry は、自分の言いたいことが出てくるまで、Well, that's not it. と繰り返す)

Curry: Yes! That's it. Thank you.

Step 3. 今日の活動をまとめよう。例文に習って、英語で説明する文を書こう。

例) *Kiyomizudera* is an old building we can see in Kyoto.



インタビューした相手の名前

わかったこと

1. (                    )
2. (                    )
3. (                    )
4. (                    )
5. (                    )


Step 3. 例文にならって、クラスメートについてわかったことをまとめよう。

例： I found that my classmates are very interesting. Manabu is a person who likes curry and rice very much.

Tomoyuki is a person who enjoys running. . . .

I found that my classmates are very interesting.

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

◆ 今日の活動をふり返って、書きましょう。

- (1) よくできたこと、とくにがんばったこと
  
- (2) あまりできなかったこと、これからがんばりたいこと
  
- (3) 今回の活動を通してできるようになったこと、わかったこと、感じたこと

Class \_\_\_\_\_ No. \_\_\_\_\_ Name \_\_\_\_\_